

新政会だより

Vol.5

平成20年1月14日
発行



議場にて

右から

- 平野久樹 総務財政常任委員会
- 野本信行 建設産業常任委員会
- 畑野久一 建設産業常任委員会
- 齊藤伸一 文教民生常任委員会
- 伊藤文博 文教民生常任委員会

新政会

基本理念

友愛・公平・公正・効率を旨とする

スタンス

保守・中道路線

米田市政を是々非々で支える

ご挨拶

市民の皆様には、ご家族でよい年をお迎えることと、お慶び申し上げます。

そして、新政会の議会活動に対し、ご理解を賜り暖かいご支援を頂いていますことに、心より感謝申し上げます。

新政会は、政策集団を自負し、「基本理念」「スタンス」を基本に、住みやすい糸魚川市を求めて市の将来を真剣に考え、研鑽を重ねながらの会派活動・議会活動を活発に行っています。

新年度の予算編成の前に、数回にわたる会派会議、勉強会、視察研修、市民の皆さんとの意見交換を行い「平成20年度予算編成に対する新政会要望」を取りまとめ、市長に対し12月21日に重点施策を提示しております。



「平成20年度 予算編成に対する要望」

◇基本姿勢

合併4年目を迎え、地域医療問題及び地方自治体財政健全化法の適用を始めとして、懸案事項が山積しています。

新政会は、市長の予算編成5本柱を中心とした「選択と集中」を基本に、国・県と密接な連携の下、市長・管理職のリーダーシップ発揮と一般職員の意識改革促進による迅速・適切な市政運営を要望いたします。

◇重点施策（要約）

1. 予算編成の基本的考え方

(1) 歳入での増収が望めないことから、歳出における人件費等、庁内経費削減の取り組み強化。

(2) 生活費高騰と高齢者世帯増加の現実から、下水道料金等の市民負担増への慎重検討と、市民への十分な情報開示と事前説明。

2. 市長の重点方針に対する 新政会としての具体的要望事項

(1) 地域医療対策と健康づくりの推進

① 姫川病院の閉院に伴う救急医療体制の維持、特に循環器科、脳神経科診療の充実・存続と、「地域医療計画」（仮称）策定による、長期展望に立った地域医療対策推進。

②（仮称）健康づくりセンターの早期着手を図り、市長の健康づくり取り組みへの指導力発揮と、各種健康診断の受診率向上。

(2) 安全・安心のまちづくりの推進

① 各種災害に強いまちづくり施策の推進。

② 各種災害に強いまちづくり施策の推進。

③ 各種災害に強いまちづくり施策の推進。

（裏面へつづく）

②浦本地区下水道工事着手による渋滞が予想されるため、高速道路料金の無料化又は大幅割引の東日本高速道路(株)本社への要請。

③地域の発展につながる産業の育成と振興

①市内既存企業の支援強化のため「企業支援室」設置と、新規企業誘致への人材投入による、人口対策、財政力向上。

②農林水産業従事者の高齢化と所得の停滞、後継者難等に対する持続可能な政策の早期確立。

(4)自然資源を活かした誘客の促進と観光の振興

①当市の豊富な自然観光資源と北陸新幹線の開業を視野に、「観光振興計画」(仮称)を早期に樹立しての、交流人口増加への取り組み。

②市内の観光イベント充実強化のため、早期の観光協会統一による重点志向のイベント開催への働きかけ。

(5)主要交通ネットワークの整備促進

①都市機能の向上と産業基盤整備のため「東バイパス、北陸新幹線、松糸道路、姫川港」等の整備促進。

②市民の日常生活向上と、当市の防災、観光誘客増につながる「中央大通り線、親不知防災、国道148号」等の事業促進。

◆その他の重点方針(要約)

(1)部制を導入した効果の追求と市民サービスへの迅速な対応が可能な、組織の見直しと人材の配置。

(2)豊かな心と学力向上を図るため、教職員の資質向上と人材の確保、地域に根ざした食育教育の充実。

(3)子育て支援の強化を図るため、保育料の軽減、学童保育(学童クラブ)の充実を図り、家庭の負担軽減。



会長
畑野 久一

【新年の抱負】

新糸魚川市が誕生して4年目。私たち市議会議員にとって任期最終年を迎えます。

議会の大切な役割で有ります行政執行に対するチェック機能を更に高める取り組みと、ライフワークであります基幹交通網、産業振興、子育て支援、高齢者福祉等の着実な整備に一層尽力したいと思えます。

寒さ続く昨今ですが、健康に留意して小学校入学を心待ちにしている孫と一緒に、桜咲く躍動の春に備えたいものです。



副会長
野本 信行

【安心・安全なまちづくりを!】

新糸魚川市の市議会議員になって、今年で4年目を迎えます。この間、議会運営、行政業務を知ることに専念してきましたが、余りにも広範にわたり、未だ不十分な状況にあります。

しかし、時々の行政施策、課題への取り組みなど、議員としてのチェック、提言などの職責を果たすべく、所属委員会を通じ研鑽努力をして参りました。

今後も新糸魚川市の安心・安全なまち、活気のあるまちづくりを目指し、山積する諸課題を念頭にバランス感覚をもって、健康に留意し、少しでも貢献できるよう心がけて参ります。



幹事長
斉藤 伸一

【新しい年を迎えよう!】

平成二十年の糸魚川市は正念場を迎えます。人口減少が進行している中で、主要課題に対し市民ニーズに応え、将来を見据えた中で、議会議員の責務を果たすべく活動を行います。

特に、昨年、新議会が行った市長要望のフォローをしっかりと行い、議員として自分の力量を踏まえて、情勢を見極めた行動を展開するべく今年も頑張ります。

今、医療問題が重くのしかかっておりますが、私自身、健康増進による医療軽減のため、禁煙によって増加した体重減少による健康増進に努めてまいります。



副幹事長
編集委員長
伊藤 文博

【元気な糸魚川を!】

亥年は波乱の年となる。正に、地震、姫川病院の閉院と多難な年となりました。糸魚川市政も合併後4年目を迎えた今、部長制の効果を發揮して横のつながりを強化し、効率的な行財政運営体制を確立して、その能力を最大限に發揮しなければなりません。

議会のチェックの目を厳しくし、建設的な提案をしながら「元気な糸魚川」づくりに尽力するつもりです。

市民の皆さんの健康と、自分自身の健康に関心をもちながら、「有り合わせ精一杯」を尽くして、今年一年元氣いっぱい頑張ります。



会計
編集委員
平野 久樹

【健康づくりの思い】

平成19年度は重点施策の一つに「健康づくり」が掲げられスタートしましたが、直後の6月に姫川病院の閉院が発表され、その後の医師確保や循環器系医療の整備、「健康づくりセンター」建設の延期など、市の対応や市民の皆様から寄せられる強い意向を思い返すと、まさに、地域医療体制の重要さを思い知らされた一年でした。私も今年は4回目の年男(子年)ですので、今までのように若さにまかせて突っ走るのではなく、「健康」を常に頭に入れて行動し、三年間で吸収した事を更に活動に活かせるよう、一期目の最終年といたします。

■編集後記

平成20年が幕を開けました。昭和から平成に移り変わり、早くも20年目になるとは、正に「光陰矢の如し」の感があります。

新糸魚川市、米田市政も4年目を迎えます。糸魚川市の財政環境は、収入面で厳しい状況が続く、「住みやすい糸魚川市」を促進維持するための地域活性化が大きな課題となっております。活性化には有効な施策だけではなく、職員の、より大きな効果を生み出すという高い追求心と、市民の参加意識も不可欠です。

市議会では、平成17年の国勢調査で人口5万人を割ったことと行財政改革の観点から、議員定数の見直し論議が始まっています。新議会では、本問題に対して、市民の皆様の声聞きながら、慎重に対処していきたいと思っております。本年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。